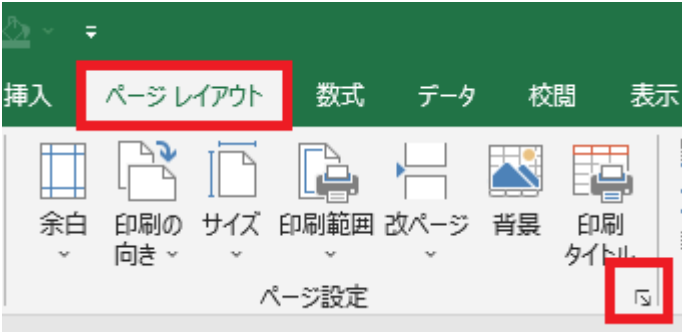


Excelの計算式でさまざまな理由でエラーが出てしまうことがあります。画面上ではエラーが表示されていてもよいけれど、印刷して配布するときには隠したいなんてことはありませんか？そんなときはこの機能を使えばきれいに印刷することができちゃうんです。

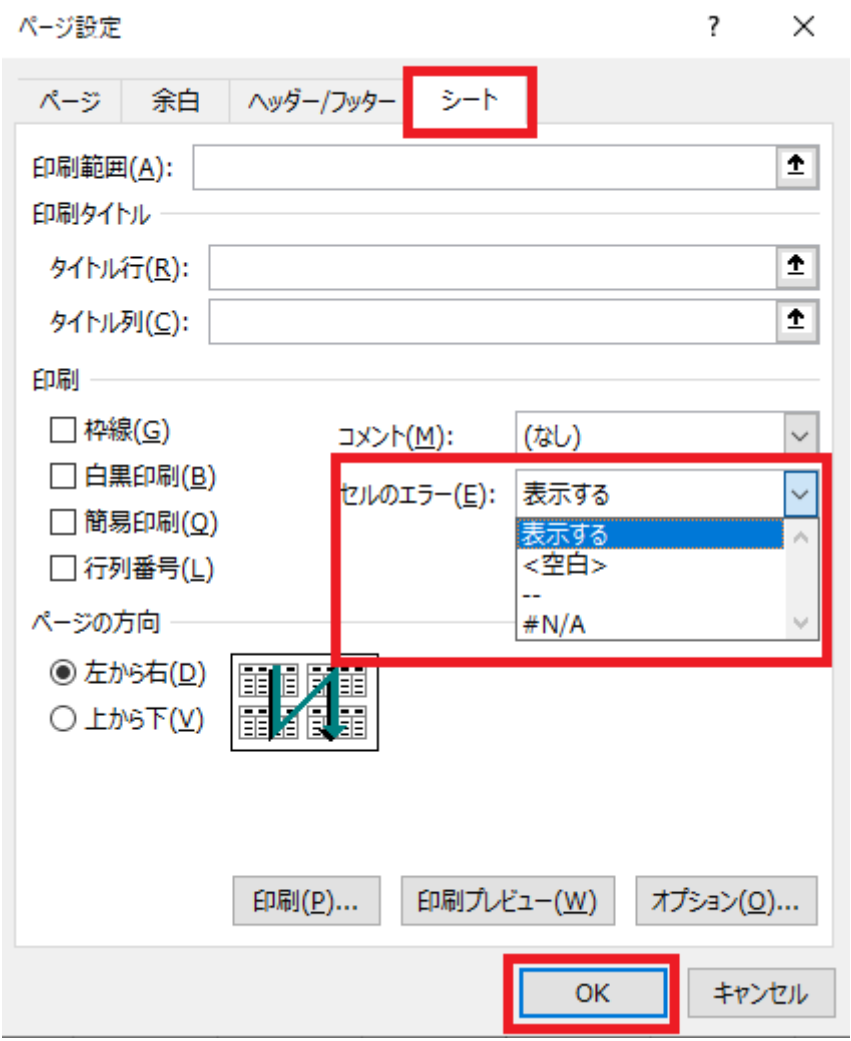
例) 以下のようにエラー値（#DIV/0！）を含むデータがあった場合

	A	B	C	D
1	支店別売上管理表（昨対比）			
2				
3	支店名	2021年度	2022年度	昨対比率
4	札幌支店		280	#DIV/0!
5	東京本店	1,000	1,050	105.0%
6	横浜支店	800	900	112.5%
7	名古屋支店		450	#DIV/0!
8	大阪支店	700	750	107.1%

「ページレイアウト」タブ→ 右下の端の矢印をクリック



ページ設定の画面が開いたら、「シート」タブ
→ セルのエラーのところで「<空白>」を選択し「OK」をクリック



すると、データ内のセルの見た目に変化はありませんが、印刷の画面からプレビューを確認するとエラーのセルが空白になっていることが確認できます。これをそのまま印刷すれば、印刷したデータにはエラー値が表示されなくなります。

支店別売上管理表（昨対比）			
支店名	2021年度	2022年度	昨対比率
札幌支店		280	
東京本店	1,000	1,050	105.0%
横浜支店	800	900	112.5%
名古屋支店		450	
大阪支店	700	750	107.1%